令和６年度　留萌支部活動報告

留萌管内学校体育研究会

■ 令和６年度　留体研の活動

４月２７日（土）	北海道学校体育研究連盟定期総会　２名出席
５月２０日（月）	留体研総会（理事会）・研修会
７月２９日（月）	全道研究担当者研修会【札幌市】　４名出席
１０月１７日（木）	全道代表者研修会【札幌市】　２名出席
１０月１８日（金）	北海道学校体育研究大会十勝大会　７名参加
１１月１５日（金）	第３４回留体研研究大会遠別・初山別大会　４１名参加
１月　９日（木）	スキー実技講習会【増毛町暑寒別岳スキー場】悪天候のため中止
＊その他、研究部会や各市町村単位での会員による授業公開等	

１　留萌管内学校体育研究大会遠別・初山別大会　（１１月１５日実施）

本連盟では研究大会とゼミナールを隔年で開催しており、令和６年度は、遠別町立遠別小学校と初山別村立初山別中学校を会場に研究大会を開催しました。研究大会には、留体研会員はもとより、上川管内や宗谷管内の先生方合わせて４１名ものみなさんに参加していただきました。

□公開授業①　第６学年　器械運動「跳び箱運動」
授業者　遠別町立遠別小学校　教諭　佐藤　瑶子
□公開授業②　第１・２・３学年　球技「バスケットボール」
授業者　初山別村立初山別中学校　教諭　鷲見　空我

授業づくりをする上で、研究部では３つの視点（「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「何が身に付いたのか」）を大切に進めてきました。

「公開授業①」では、場の使い方、ICT の活用の仕方など、様々な面での工夫が見られました。子どもたちは、自分の課題にあった練習方法を選択したり、技のコツを仲間と共有したりしながら、学習を進めていました。「公開授業②」では、毎時間の振り返りを大切にし、振り返りからグループごとで課題を明確にし、解決のために練習を選択していました。全校体育ということで、経験が豊富な３年生がリーダーとなり学習を進めている姿が印象的な授業となりました。

今回は、北海道教育大学旭川校教授の高瀬淳也先生にご助言をいただき、授業づくりを進めました。また、今後の留体研の授業づくりのために、大会当日も助言者としてたくさんのご示唆をいただきました。

毎年冬季休業中に、スキー技術や指導法の向上を目的に実施してきたスキー実技講習会。今年度は、暴風雪警報が出されるなど悪天候に見舞われ、参加を希望していた４０名の教職員は残念に思っていたようです。次年度もスキー授業を通して、スキーの楽しさを子どもたちに伝えるための一助となるよう、本講習会を継続するとともに、さらに講習内容の質を高めていきたいと考えています。

２　真剣！みんなでしゃべり場

留萌管内の会員同士でのつながりを大切にするために、「真剣！みんなでしゃべり場」を行いました。研究部が座長となり、Zoom で授業のアイディアやつまずき、コツなどを会員相互で共有したり、相談したりするなど気軽に話せる場として、昨年度５回実施（５月、７月、９月、１２月、２月）し、延べ５０名が参加しました。

■ 令和７年度　留体研の活動予定

１　令和７年度の組織づくり

５月中旬に総会（理事会）・研修会を実施し、本年度の組織体制を確立し、早速、研究活動もスタートさせていきます。

２　研究ゼミナール・スキー実技講習会の実施・交流の場の設定

今年度は研究ゼミナール開催の予定です。内容については研究部を中心に検討していきますが、会員一人一人の指導力向上と管内における保健体育科教育の充実に資するゼミナールにしたいと考えています。

また、スキー実技講習会は、増毛町暑寒別岳スキー場を会場に実施する予定です。自らのスキー技能の向上や、３学期に行うスキー授業において活用できる指導法の習得など、参加者にとって実りある講習会にしたいと考えています。

そして、昨年度より引き続き、会員が交流できる場の設定に取り組んでいきます。昨年より、さらに会員のニーズに合わせた内容になるよう工夫していきたいと考えています。

＝留体研研究主題＝

子どもたちの体と心を見つめ　「今」をたがやし
「未来（あす）」の力をはぐくむ　留萌の体育

～ わかって できて おもしろい！「楽しい体育」を つなぎ つみかさねて ～